

株式会社ニッカトー 2019年3月期（第2Q）決算説明資料

目次

1. 2019年3月期（第2Q）業績概要
2. 2019年3月期業績予想
3. 事業トピックス

目次

1. 2019年3月期（第2Q）業績概要
2. 2019年3月期業績予想
3. 事業トピックス

経営成績の概要

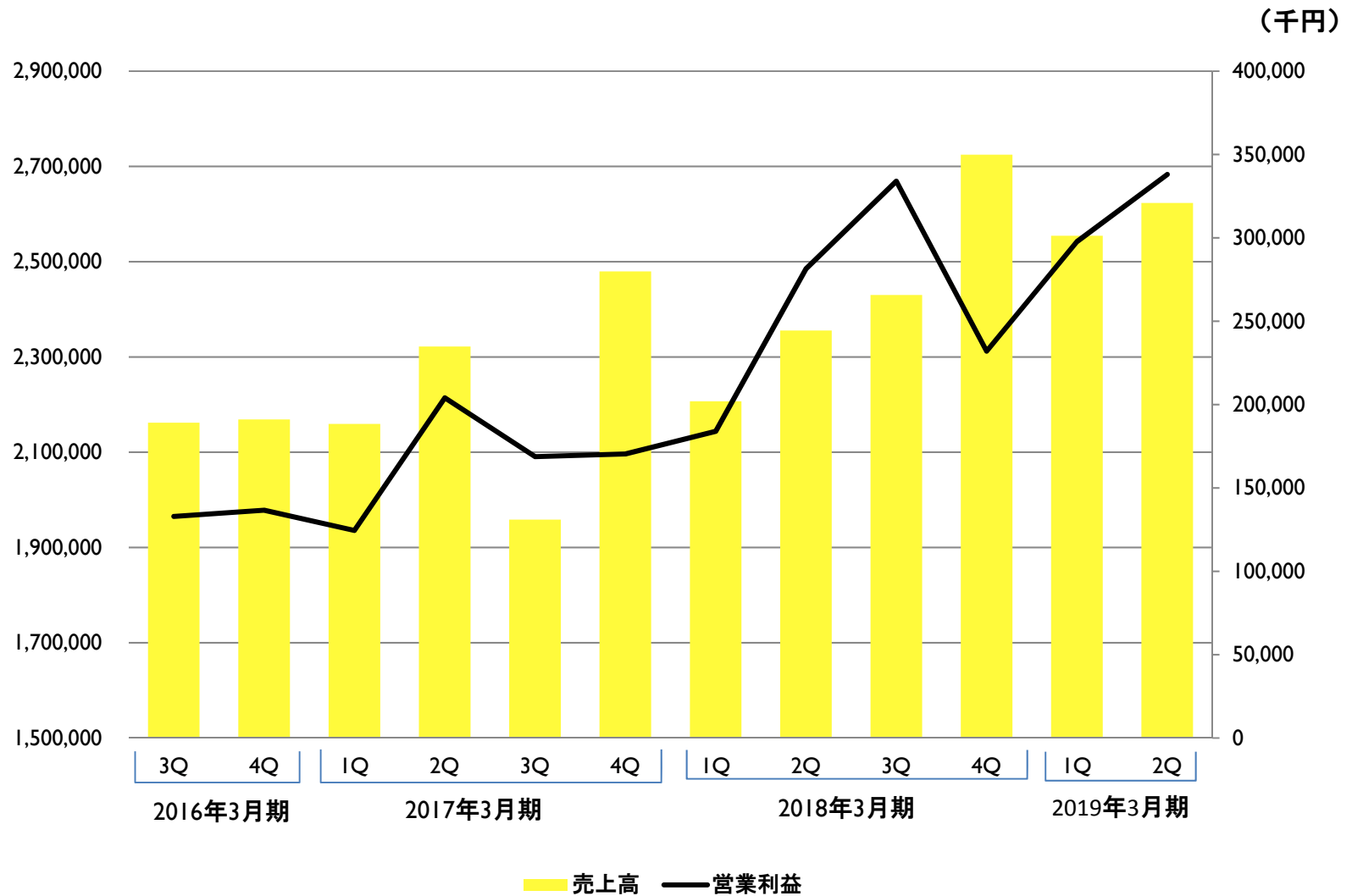
(単位：千円)

	2018年3月期2Q		2019年3月期2Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	4,562,298		5,177,646		615,348	13.5%	10,000,000	51.8%
売上原価	3,436,341	75.3%	3,837,745	74.1%	401,403	11.7%	7,420,000	51.7%
販売費及び一般管理費	660,446	14.5%	704,120	13.6%	43,673	6.6%	1,510,000	46.6%
営業利益	465,509	10.2%	635,780	12.3%	170,270	36.6%	1,070,000	59.4%
経常利益	476,730	10.4%	659,709	12.7%	182,978	38.4%	1,100,000	60.0%
当期純利益	318,795	7.0%	447,398	8.6%	128,603	40.3%	760,000	58.9%

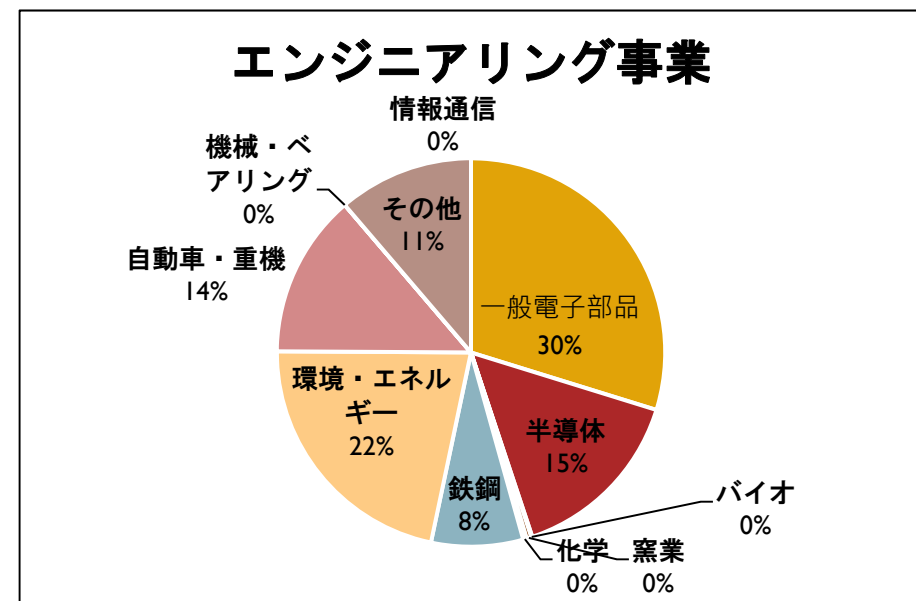
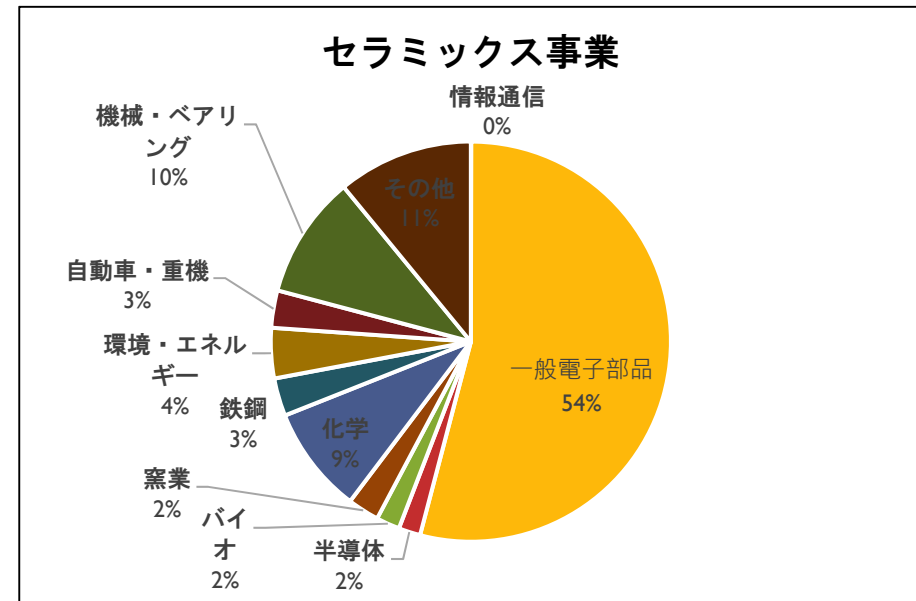
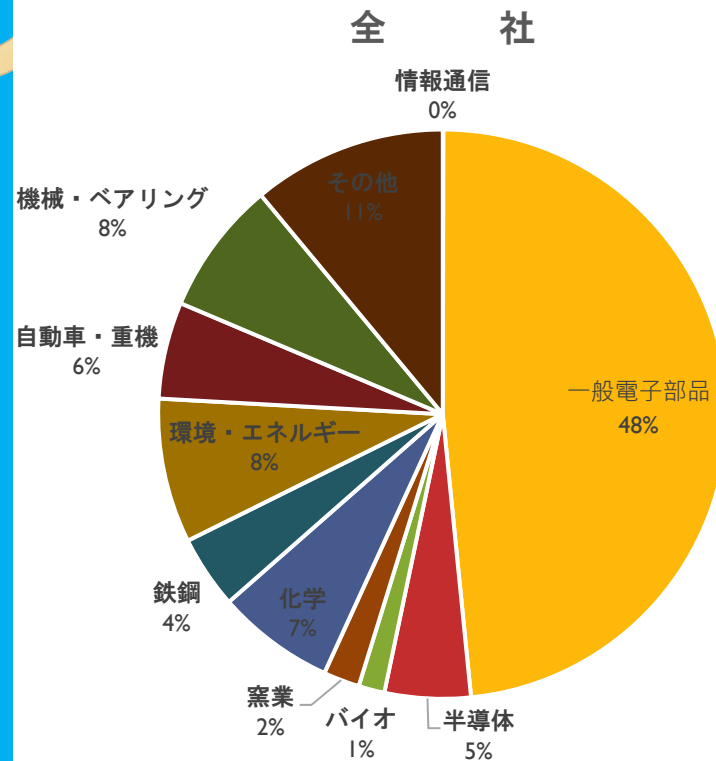
研究開発費	99,942	2.2%	101,426	2.0%	1,484	1.5%	-	-
EPS(円)	26.71	-	37.48	-	10.77	-	-	-
ROA (%)	4.6	-	6.3	-	1.7	-	-	-
ROE (%)	6.2	-	8.6	-	2.4	-	-	-

※ROA・ROEの数値は第2四半期の実績値を通期換算して計算しております。

売上高・営業利益推移（四半期毎）



マーケット別構成比

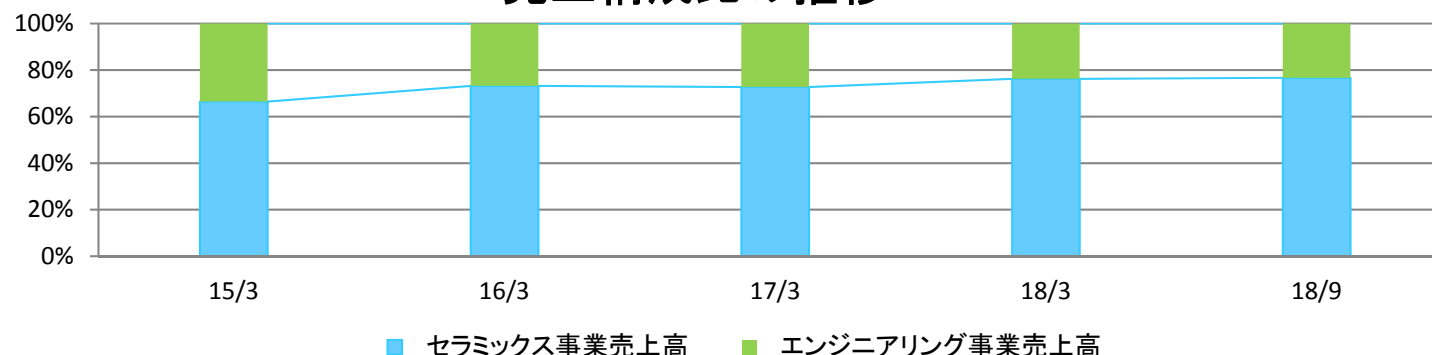


セグメント別業績

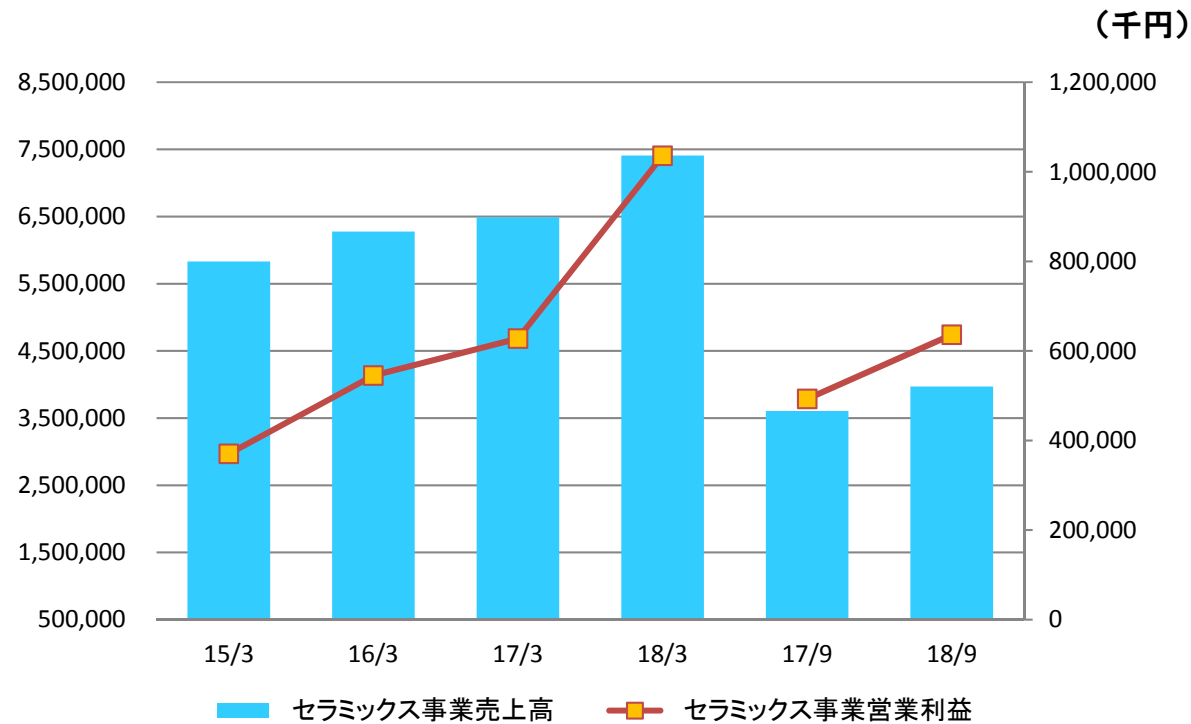
(千円)

	2018年3月期2Q		2019年3月期2Q		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	4,562,298	100.0%	5,177,646	100.0%	13.5%
セラミックス事業					
機能性セラミックス	219,594	4.8%	238,158	4.6%	8.5%
耐摩耗セラミックス	2,312,005	50.7%	2,581,053	49.9%	11.6%
耐熱セラミックス	970,725	21.3%	1,050,688	20.3%	8.2%
理化学用陶磁器他	102,914	2.2%	99,239	1.9%	△3.6%
合 計	3,605,240	79.0%	3,969,139	76.7%	10.1%
エンジニアリング事業					
加熱装置	261,819	5.7%	402,562	7.7%	53.8%
計測機器・同システム	695,238	15.3%	805,945	15.6%	15.9%
合 計	957,057	21.0%	1,208,507	23.3%	26.3%
営業利益	465,509	-	635,780	-	-
セラミックス事業	492,895	-	636,240	-	-
エンジニアリング事業	△27,385	-	△460	-	-

売上構成比の推移

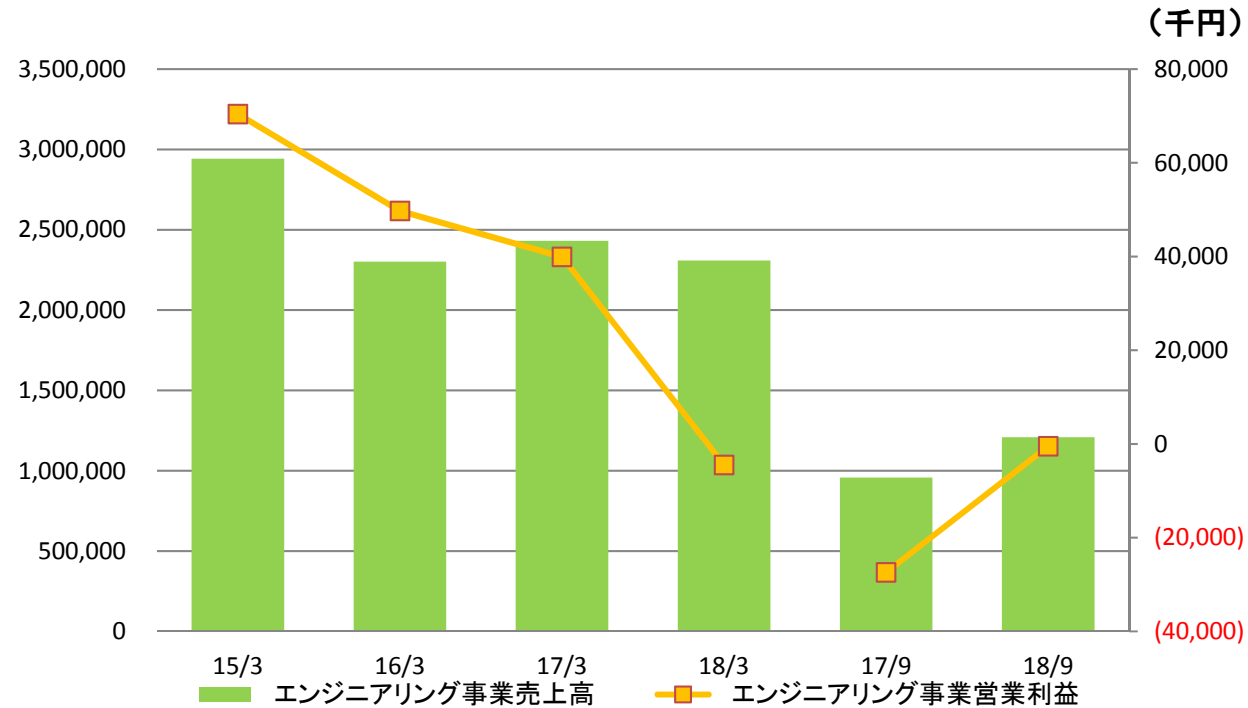


セラミックス事業



- Y T Z ボール・S N T O 7 ボール・粉砕機部材他、耐磨耗セラミックスが好調
- ローラー・アルミナ管類も堅調
- Y T Z ボール生産能力増強投資予定

エンジニアリング事業



- 加熱装置は前年同期比53.8%増収
- エンジニアリング事業の受注残は、前年度末対比41.1%増

貸借対照表

(千円)

	18/3末	18/9末	増減率
流動資産	8,699,199	8,798,141	1.1%
現金預金	2,802,684	2,755,462	△ 1.7%
売掛債権	3,621,910	3,601,494	△ 0.6%
棚卸資産	2,143,647	2,309,908	7.8%
その他	130,957	131,276	0.2%
固定資産	5,940,770	5,931,123	△ 0.2%
有形固定資産	3,557,002	3,570,117	0.4%
無形固定資産	53,241	46,144	△ 13.3%
投資その他	2,330,526	2,314,861	△ 0.7%
資産合計	14,639,969	14,729,265	0.6%

	18/3末	18/9末	増減率
流動負債	3,628,936	3,457,934	△ 4.7%
買掛債務	2,000,603	1,876,755	△ 6.2%
短期借入金	517,352	484,024	△ 6.4%
その他	1,110,981	1,097,155	△ 1.2%
固定負債	441,432	414,543	△ 6.1%
長期借入金	57,196	23,500	△ 58.9%
その他	384,236	391,043	1.8%
純資産	10,569,600	10,856,787	2.7%
株主資本	9,940,061	10,243,711	3.1%
評価・差額等	629,539	613,075	△ 2.6%
負債・純資産合計	14,639,969	14,729,265	0.6%

- ・ **流動資産**
現金預金 棚卸資産の増加に伴い現金預金は減少
- ・ **固定資産**
投資その他 株価下落に伴う投資有価証券の評価減に伴い減少

- ・ **流動負債**
その他 未払金及び営業外電子記録債務の減少に伴い減少
- ・ **固定負債** 長期借入金の返済により減少
- ・ **純資産**
株主資本 内部留保の蓄積による繰越利益剰余金の増加に伴い増加

キャッシュフロー計算書

(千円)

	17/9末	18/9末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,164	462,041	84,876
税引前当期純利益	475,383	651,634	176,251
減価償却費	260,767	257,684	△ 3,082
棚卸資産の増減額	△ 115,212	△ 166,260	△ 51,048
その他	△ 243,773	△ 281,016	△ 37,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 488,566	△ 278,471	210,095
有形固定資産の取得	△ 482,035	△ 298,397	183,638
その他	△ 6,530	19,925	26,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 93,883	△ 210,791	△ 116,907
配当金の支払額	△ 95,442	△ 143,029	△ 47,586
その他	1,559	△ 67,762	△ 69,321
現金等の増減額	△ 205,285	△ 27,221	178,064
現金等の期末残高	2,666,758	2,755,462	89,176

- ・ 営業CF
棚卸資産の増減額
在庫の増加
- ・ 投資CF
有形固定資産の取得
セラミックス事業設備投資
- ・ 財務CF
配当金の支払額
配当額8円→11円
- その他
借入金の返済による減少

目次

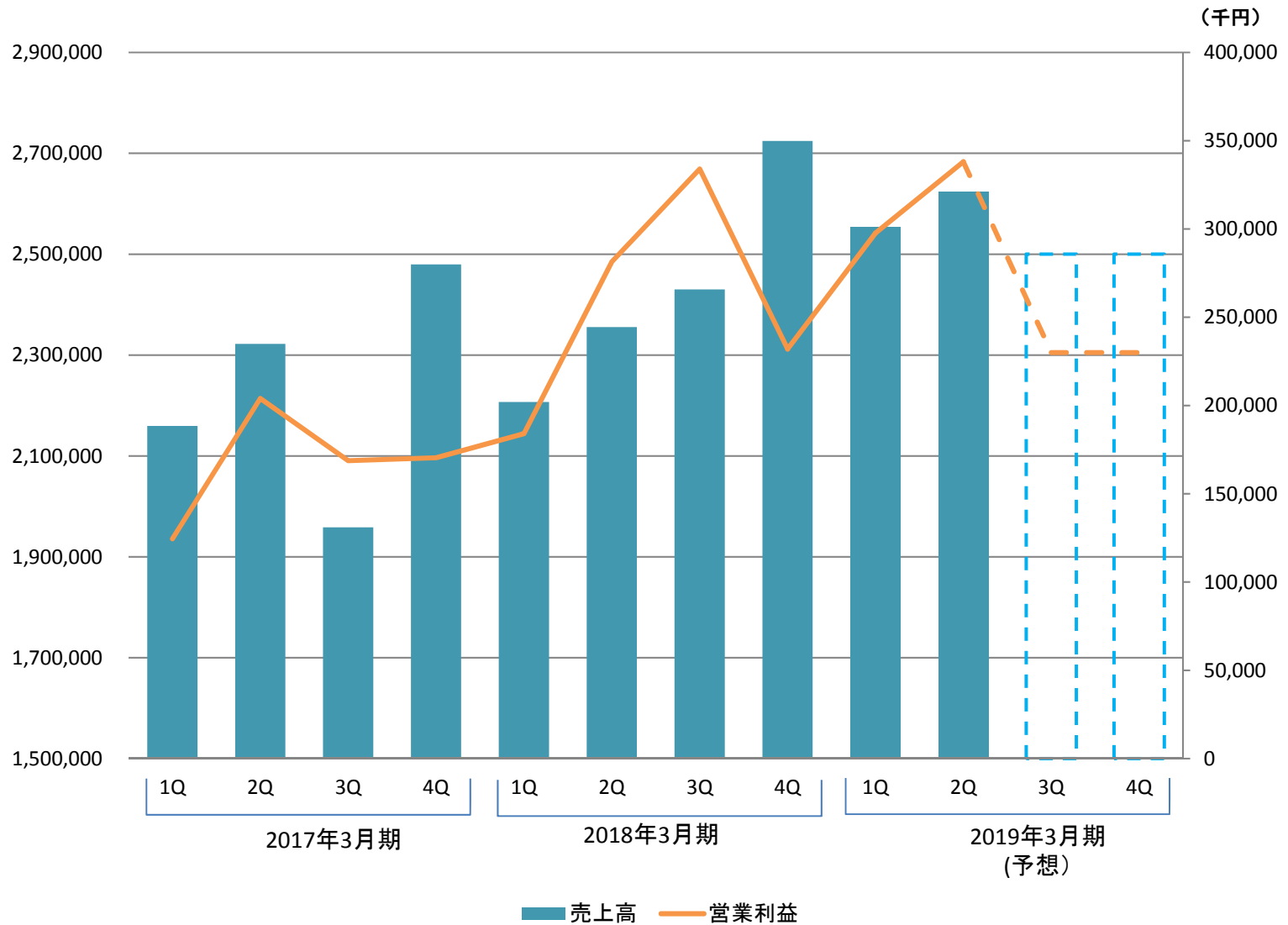
1. 2019年3月期（第2Q）業績概要
- 2. 2019年3月期業績予想**
3. 事業トピックス

2019年3月期業績予想 (I)

(千円)

	第2四半期(予測)		第2四半期(実績)		対予測比	2019年3月期(予測)		対予測(通期)比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	5,000,000		5,177,646		103.6%	10,000,000		51.8%
売上原価	3,660,000	73.2%	3,837,745	74.1%	104.9%	7,420,000	74.2%	51.7%
販売費及び一般管理費	730,000	14.6%	704,120	13.6%	96.5%	1,510,000	15.1%	46.6%
営業利益	610,000	12.2%	635,780	12.3%	104.2%	1,070,000	10.7%	59.4%
経常利益	630,000	12.6%	659,709	12.7%	104.7%	1,100,000	11.0%	60.0%
当期純利益	430,000	8.6%	447,398	8.6%	104.0%	760,000	7.6%	58.9%

2019年3月期業績予想 (2)

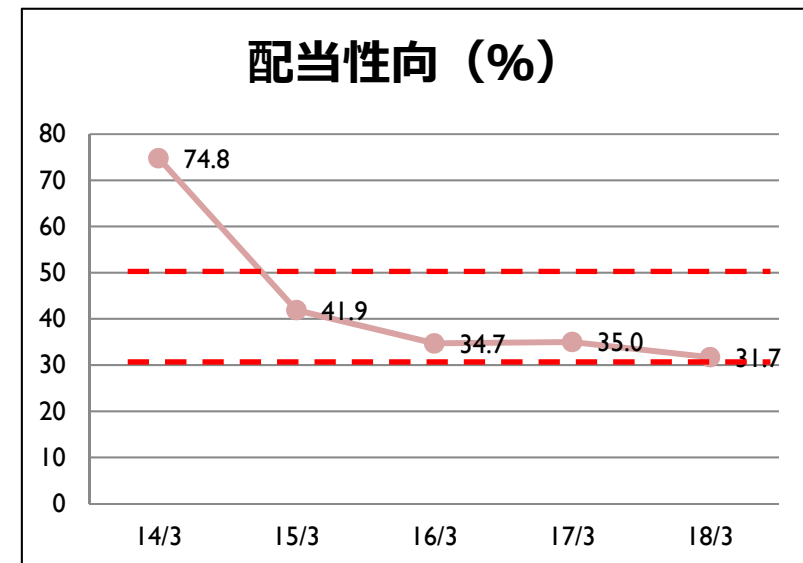
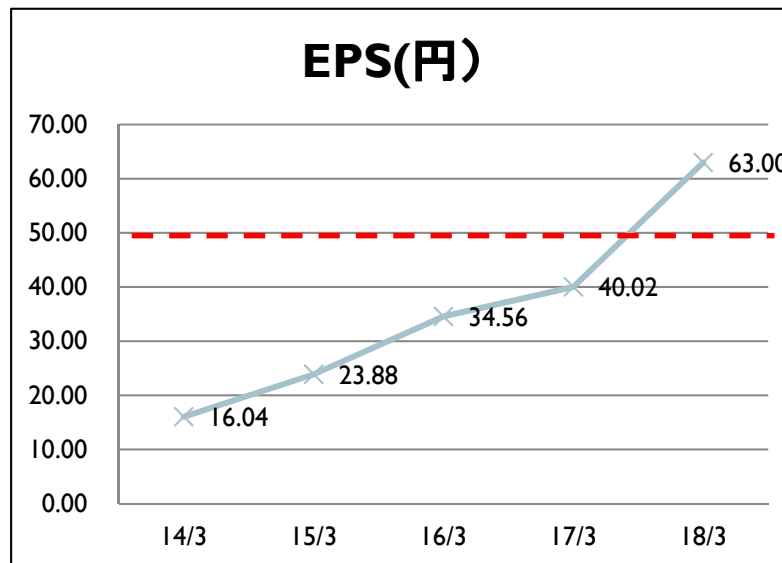
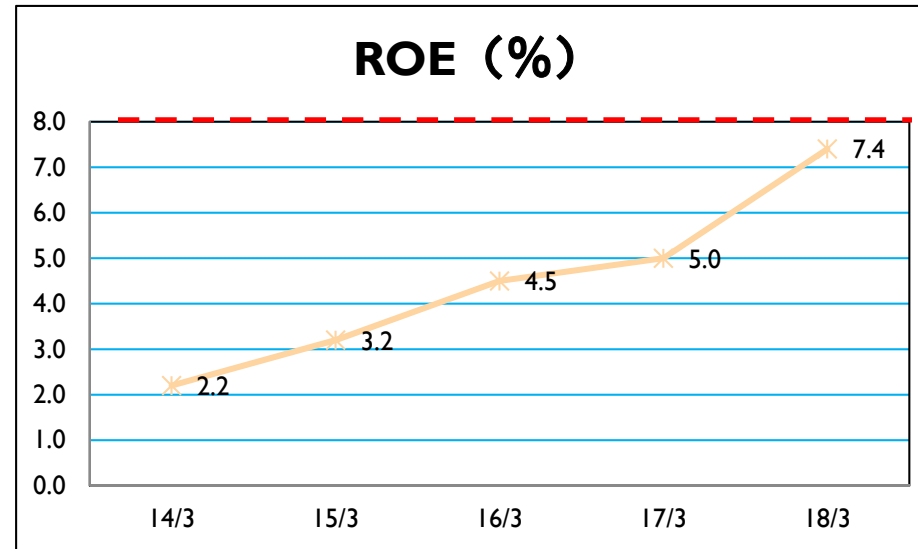


目標とする経営指標（I）

- ROE（自己資本当期純利益率）
→8%以上
- EPS（1株当たり当期純利益）
→50円以上
- 配当性向
→30%～50%

目標とする経営指標 (2)

(過年度実績)



目次

1. 2019年3月期（第2Q）業績概要
2. 2019年3月期業績予想
- 3. 事業トピックス**

新規取扱商品について

当社は、エンジニアリング事業において新しくオメガエンジニアリング事業部（スペクトリス株式会社）の製品を正式に取扱いする事となりました。当社の得意とする温度関係分野はもとより、オメガエンジニアリング事業部の取扱う、温度、湿度、圧力、流量、レベル、PH、導電率等に関する幅広い計測機器及び関連製品（主に各種コネクタ関係）を取扱い販売して行く事を紹介させていただきます。

☆熱電対コネクタ

同社は、1962年に米国で設立され、熱電対関連製品の製造及び販売しており、特にコネクタ製品は日本でもNo.1の知名度を確立しておりオメガコネクタとして広く知られております。

当社は9月より正式に在庫を設置し安定且つ迅速な対応が出来る様に販売体制を整え始めております。

今後の展望としましては、当社販売網を活用し、他の製品と密接な連携より生まれる高いシナジー効果によって、より一層の販売増を目指します。

※当社 独自のカタログも完成しましたので御用命を頂ければ幸いです。



（注）本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。